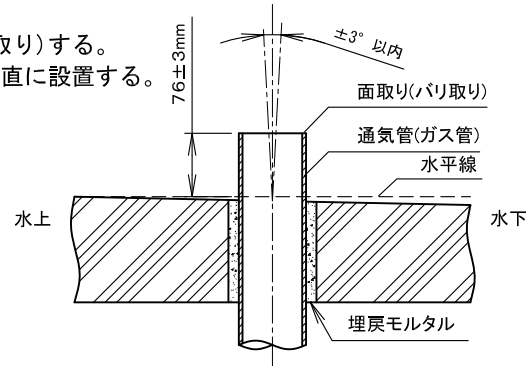


防水継手(WPJ-W)の施工方法 住宅・都市整備公団型

施 工 例

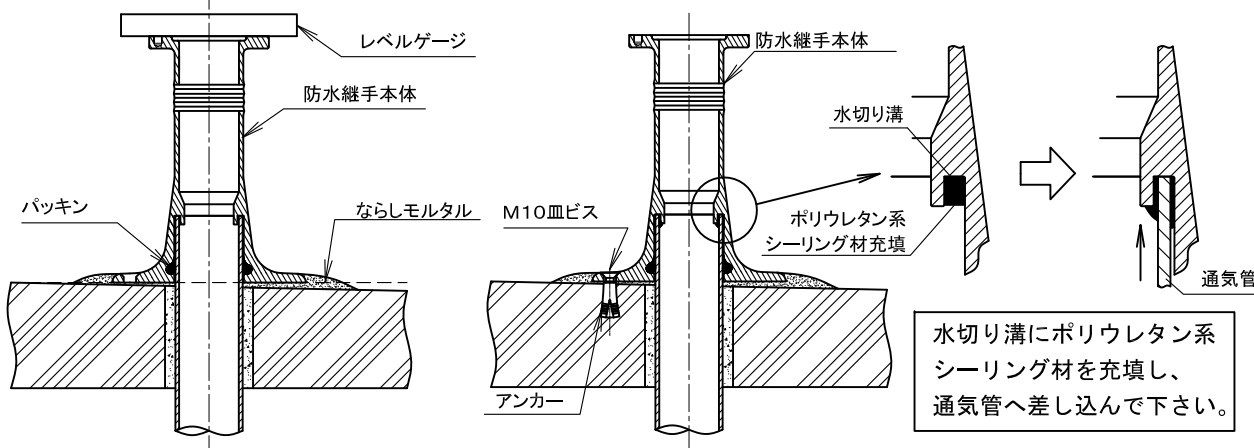
1. 通気管を設置し、モルタルで埋戻す

- 注) ・ ガス管をスラブより76mmの高さのところで切断する。
切断面は水平になるようにする。
・ ガス管の切断面を十分面取り(バリ取り)する。
・ 通気管(ガス管)を水平線に対し、垂直に設置する。
($\pm 3^\circ$ 以内)



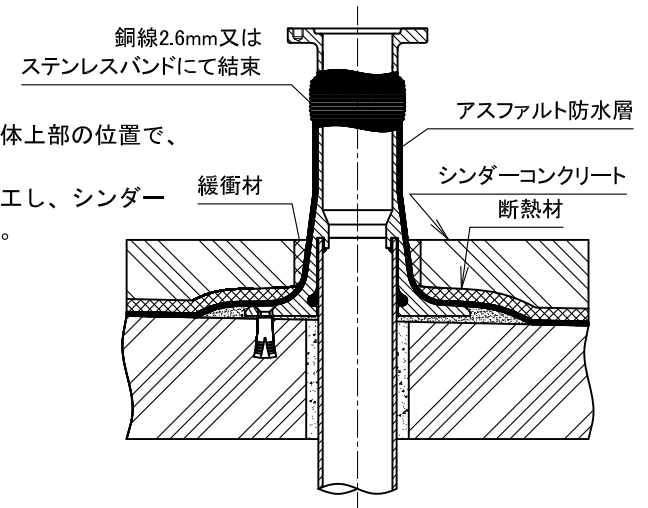
2. 防水継手本体を設置する。

- 1) モルタルをスラブ上にのせ、継手本体を通気管に入れる。
注) ・ 通気管(ガス管)に本体を差込む際パッキンに石鹸水等を付けますと、挿入が容易に行えます。
2) 継手本体の上にレベルゲージをのせ、水平を保ち仮設置する。
3) 継手本体台座のボルト穴(3ヶ所)の位置をモルタル面にマーキングする。
4) 継手本体を外し、アンカー(M10)を打込む。
5) 継手本体の水切り溝にシーリング材を充填し、通気管へ差し込み、M10皿ビスで固定する。
注) ・ パッキンが継手本体についていることを確認する。



水切り溝にポリウレタン系
シーリング材を充填し、
通気管へ差し込んで下さい。

3. 防水層を巻き上げ継手本体上部の位置で、銅線等で固定する。
断熱材・緩衝材の順に施工し、シンダーコンクリートを打設する。



4. 防水継手本体にカバーを取り付け、通気管(ガス管)を立ち上げ ベントキャップ(BC又は、BC-A)を取り付ける。(完)

